

親子聖書日課

NO.1462 2016.10/2-8 名前

[日]民が70年間、主に喜ばれると思って断食したのは、自己満足のためでした。主に喜ばれるのは、熱心に宗教行事を守るのではなく、「正義と真理」である御言葉に従い、互いに労わり合い、災いを心にたくまないこと、形式より中身です。

[月]人の目には驚くべきことも、神の目には驚くべきことはありません。神は無から有を呼び出される全能の神だからです。その神を信じて、祈り求めることです。石のように硬い心も、必ず救われると信じて祈りましょう。主の御心が成ります。

[火]主イエスのエルサレム入場の預言です。主は王のように馬ではなく、ロバ、それもロバの子に乗りました。それは柔和でへりくだった、平和の王の印です。主は今日もロバの子を求めています。自らを「ちいロバ」として、差し出しましょう。

[水]うつつうしい雨も、雨の少ないユダヤでは、収穫に大きな影響をもたらす恵みの雨です。宣教の働きも同じで、聖霊の雨が注がれてこそ、魂は救われます。「主よ、聖霊の雨を降り注いで下さい」と祈るなら、救われる人が起されるでしょう。

[木]ゼカリヤが命がけで牧会した報酬は銀30枚(奴隷の値段)でした。これは大牧者イエス様を銀30枚で売ったユダを象徴しています。主を「しもべ」の価値にしてはいけません。主の十字架の愛は、高価な香油を捧げても惜しくないのです。

[金]主の「憐れみと祈りの霊が注がれた」人は、自分の罪がわかります。独り子イエス様を十字架につけたことを嘆き悲しみます。しかし、主は三日目に復活して、嘆き悲しみを希望と喜びに変えて下さいました。主の受難と復活に感謝しましょう。

[土]罪と汚れを洗い清めるためには、修行や努力では解決しません。「一つの泉が開かれる」それは主の十字架の赦しです。主の腹からは生ける水が泉のように流れ出ます。全ての罪を赦して下さい。主の十字架の下で、清くなりましょう。



	聖書	問題	答え
日	ゼカリヤ 7:1-14	互いに何を心にたくらんではありませんか。	
月	8:1-23	何をもたらす裁きをすべきですか。	
火	9:1-17	彼は高ぶることなく、何に乗ってきますか。	
水	10:1-12	春の雨の季節には、主に何を求めるべきですか。	
木	11:1-17	彼らは何シュケルを量り、私に賃金としてくれましたか。	
金	12:1-14	主は憐れみと何の霊を注がれますか。	
土	13:1-9	罪と汚れを洗い、清める何が開かれましたか。	
感想と祈りの課題			

